
岡田澄子記念国際研究基金
Sumiko Okada International Fellowship Fund
趣意書

1. 基金の目的

摂食・嚥下リハビリテーション分野における若手研究者を対象に、独創的で優れた国際的研究活動を助成することによって、同分野における人材の育成を図るとともに、一般社会に貢献することを目的とします。

2. 基金設立の経緯

岡田澄子氏(藤田保健衛生大学医療科学部リハビリテーション学科准教授、日本摂食・嚥下リハビリテーション学会理事。2011年6月24日逝去)の研究功績を称え、JoAnne Robbins氏、Jeffrey B. Palmer氏、Rebecca German氏、Rosemary Martino氏、Reza Shaker氏、Barbara C. Sonies氏、Peter Balafsky氏、Christy Ludlow氏、才藤栄一氏、稲本陽子氏から基金設立が2012年2月に提案されました。

2012年3月9日にDysphagia Research Society(DRS、米国嚥下障害研究協会)と日本摂食・嚥下リハビリテーション学会との間の会議において、基金設立の合意がなされました。上記基金設立を目的として当学会に贈られた寄付金を基に、2013年8月1日に設立する予定です。

3. 基金の運営

「基金委員会」がその運営管理に当り、支給対象者の選考を行います。選考結果は日本摂食・嚥下リハビリテーション学会理事会で報告します。

4. 基金の募集

2012年11月から本基金の趣旨に賛同する団体・個人による寄付金を募ります。趣旨にご賛同いただける方は、下記口座にお振込み下さい。個人一口5千円、企業等一口5万円とします。募集は1回のみとし、助成事業によって基金の残高が0円となった時点で「基金委員会」は解散します。なお、ご寄付いただいた個人、企業等のお名前を、公開の可否を確認の上、HPならびに学会雑誌に掲載させていただきます。

* 三井住友銀行 名古屋駅前支店 普通預金 * 口座番号 7490400 * 口座名義 岡田澄子記念国際研究基金委員会 代表熊倉勇美
--

5. 基金への支援

助成期間中に何らかの事情によって運営資金に不足が生じた場合、日本摂食・嚥下リハビリテーション学会理事会の承認を得て、同学会が不足分を補填します。

一般社団法人 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会
理事長 椿原 彰夫
岡田澄子記念国際研究基金委員会
委員長 熊倉 勇美